

看護学専攻（修士）

試験科目：外国語（英語）

I. 次の文は、Artificial Intelligence and Robotics in Nursing: Ethics of Caring as a Guide to Dividing Tasks Between AI and Humansという論文のIntroductionの部分です。以下を読み、問に答えなさい。

問1. 看護師が担っている多様な役割の例として、どのようなことが記されているか。

データ収集、看護診断、看護ケア計画の立案、ケアの実施、批判的かつ臨床的な意思決定スキルを活用し、患者安全の確保、患者の評価、患者教育、患者と共にいること、不可欠な課題や活動（物品の在庫管理、資材の調達、検査の依頼、病床整備など）

問2. EtzioniとEtzioniは看護ケアにAIを導入する場合、どのように活用すべきだとしているか。

AIを看護師の代替ではなくパートナーとして活用し、人間のケア提供者とAIのケア提供者の間で、相対的な能力（すなわち比較優位性）に応じてタスクを適切に分割するようにする。

問3. AIを倫理的に実装するために、満たす必要のある基準として記されていることは何か。・看護の核心的価値や生命倫理の標準的価値・原則を侵害してはならない。

- ・人間だけが意味ある形で実施できるケアの側面を奪ってはならない。
- ・看護師が人間にしかできないケアを提供するための機会を支援し、拡大または向上しなければならない。

II. 以下の英文抄録を読んで設問に答えなさい。回答は全て次項の解答用紙に記載してください。

問1. 研究の目的について記載してください。

病院から退院する個々の患者に対する個別化された退院計画の有効性を評価すること。

問2. どのような手順（検索エンジン及び抽出基準）で文献を抽出したか記載してください。

2021年4月20日にCENTRAL、MEDLINE、Embaseおよび2つのデータベースを検索した。その他の2つのデータベースは2020年3月31日時点までを検索した。参考文献の確認、引用文献検索、研究著者への連絡も実施した。選択基準は、個別化された退院計画と通常の退院計画を比較したランダム化比較試験で対象は入院患者とした。

問3. 下線部①について和訳してください。

研究を「内科的疾患を有する高齢者」「術後回復期患者」「内科外科複合患者」の3群に分類した。

問4. 下線部②について和訳してください。

大半の研究（N=30）は内科的疾患を有する患者を対象とし、平均年齢範囲は60～84歳であった。このうち4つの研究は外科手術のため入院中の患者も対象とした。

問5. この研究の結論について述べてください。

個々の患者に合わせた構造化された退院計画は、内科的疾患を有する高齢者の入院期間および再入院をわずかに短縮し、受けた医療に対する患者満足度をわずかに向上させる可能性がある。患者の健康状態や医療資源の使用、医療サービスへの費用への影響は不確かである。

看護学専攻（修士）

試験科目：専門科目（地域・在宅看護学）

I. すべての人が健康に暮らせる社会をつくるためには、地域の特性を考慮し、看護専門職としての看護活動を工夫していく必要があります。しかしながら、我が国において健康格差が生じており、社会的な問題となっています。健康格差に関して、以下の問に答えなさい。

1. 健康格差が生じる社会的な要因について3つあげ、その理由を説明してください。
2. 健康格差を是正するための保健・医療・福祉サービスの提供における「平等」と「公正」の考え方を説明してください。
3. 健康格差対策として、認知症のケアに関しても取り組みが必要です。認知症の方が地域で安心して生活を継続していくためには、どのような取り組みが必要と考えますか。理由と共に説明してください。

II. 平成18年に自殺対策基本法が施行され、日本における自殺者の総数は減少傾向にありますが、近年、こどもの自殺者数は増加傾向にあります。こうした状況に対処するため、令和7年6月に自殺対策基本法の一部を改正する法律が公布されました。我が国の自殺対策に関して、以下の問に答えなさい。

1. 改正自殺対策基本法において、自殺発生回避のための体制強化に関する施策が拡充されています。こどもの自殺対策に関する医療機関の役割について具体的に説明してください。
2. 我が国の自殺対策に関して、課題として捉えていることを具体的に説明してください。

【解答のポイント】

I. 各設問において、以下の内容が含まれている。

1. 生活習慣、教育、経済的環境、ソーシャルキャピタル、地域の食文化など健康格差につながる社会的要因を3つあげ、その理由を説明している。
2. 平等：どの人に対しても同じ資源を分配すること
公正：その人に合った資源を分配すること
3. 認知症の方が地域で安心して生活を継続していくための取り組みとして、新オレンジプランにある7つの柱の内容が含まれている。

II. 各設問において、以下の内容が含まれている。

1. 自殺企図のある子どもや自殺未遂の子どもに対し、継続的に支援するための連携の必要性と、連携に必要な医療機関としての取り組みについて具体的に説明している。
2. 自殺対策における課題について、受験者の課題意識について理由とともに説明している。